

平成22年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

循環型社会推進課（内線：7562）

4目 環境保全費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ごみ減量リサイクル実践推進事業	2,949	2,706	243				2,949	
トータルコスト	6,983千円（前年度 16,791千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	企画・連絡調整、委託業務、実践効果の検証、普及啓発							
工程表の政策目標（指標）	ごみ排出量（1人1日当たり）の減量（目標値：920g）とリサイクル率のアップ（目標値：25%）							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>循環型社会づくりを進めるため、「4つのR」の啓発、実践を働きかけるとともに、ごみ減量リサイクルの実践効果を検証し、実践普及を図る。</p> <p>※「4つのR」・ Refuse（不要なものを断る）、Reduce（ごみを減らす） Reuse（再利用）、Recycle（再資源化）</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) ごみ減量リサイクル実践効果検証事業</p> <p>ごみの分別徹底等をモデル的に実施することによる実践効果を検証し、効果を数値等で明確にアピールしながら、ごみ減量リサイクル活動の県民への浸透を図る。</p> <p>①実践内容：紙ごみ、生ごみ等の分別徹底、生ごみの水切り、段ボール箱を活用した生ごみ堆肥づくり</p> <p>②実践委託先：県連合婦人会（調整中）</p> <p>③検証項目：可燃ごみの削減効果、水切りによる減量効果、ごみ袋代削減効果、生ごみ堆肥の成分</p> <p>(2) 「とっとり環境ネットワーク」（4R推進グループ）の活動支援</p> <p>主体的に活動する同グループのネットワークを活用し、「4つのR」を中心とした環境活動への県民の参加を促進する。</p> <p>（とっとり環境ネットワークの活動内容：とっとり環境デーにおける講演会、出前説明会等）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>【指標】ごみ排出量（1人1日当たり）の減量：920g（H22）→【現状】938g（H19）</p> <p>【指標】リサイクル率：25%（H22）→【現状】19.7%（H19）</p> <p>市町村の取り組みも強化されてきている（生ごみ拠点回収拡大、生ごみ堆肥化等実証試験、軟質プラスチックの固形燃料化等）。今後、可燃ごみの中で比重の大きい「紙ごみ」「生ごみ」対策を重点に、分別徹底、生ごみの水切り等の実践者の拡大を推進する。</p>								